

令和5年度

学 力 向 上 プ ラ ン
【後期】

上尾市立西小学校

上尾市立西小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

素直で 明るく かしこい 西小っ子の育成
 ○よく考えよく学ぶ子
 ○なかよく助け合う子
 ○明るく健康な子

学校課題研究主題

「英語でも、楽しく意欲的に
 伝え合う、西小っ子の育成」

学力・学習状況調査の結果

R5 全国学力・学習状況調査	R5埼玉県学力・学習状況調査	R4 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、全国平均と比較して国語で9ポイント、算数で3ポイント上回っている。 国語は全ての領域で全国平均を上回り、中でも「言葉の特徴や使い方に関する事項」は+11.5ポイントと大きく上回っている。 算数は概ねどの領域も全国平均を上回っているが、「図形」は-0.3ポイントと下回り、この領域に対する指導方法の工夫と改善が本校の課題といえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力レベルの平均では、国語が4レベル、算数でも4レベル伸びている。 国語、算数ともに、学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県の平均を上回っている。 非認知能力は、6年生の向社会性と、4年生の自制心の項目の数値が、埼玉県と比較して低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語・算数ともに正答率は全般的に高い。 無解答状況を見ると最後まで諦めないで考える力が育ってきた。どの学年も問題全体の4/5まではほとんど無解答が見られない。後半で無解答が見られる問題は、国語・算数ともにドリル等にはないパターンの問題である。 国語は書くことに、算数は思考力、判断力に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ①一人あたりの言語活動を多くすることで得られる基礎的、基本的な知識・技能。(全般) ②コミュニケーションの体験を基に、言語や文化に慣れ親しむことで得られる知識・技能。(外国語等) 	<ul style="list-style-type: none"> ③問題を発見し、プログラミング的思考を活用して結果を予測し、記述して実行する思考力・判断力・表現力等。(全般) ④できるだけ多くの活動を体験させ、伝え合う力を養うことで身に付く思考力・判断力・表現力等。(外国語等) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤課題解決に主体的に取り組み、最後まで思考錯誤を続けて、学習の成果を他者と共有しながら、お互いに高めようとする態度。(全般) ⑥相手が理解しやすい話し方を考えるなど、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度。(外国語等)

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ①友達と学び合う中で、学習意欲を持続し、技能の定着を図る授業展開。(全般) ②実際に英語を用いた意味のある言語活動を通して、繰り返し体験的に理解させることで技能の定着を図る授業展開。(外国語等) 	<ul style="list-style-type: none"> ③ICTを活用し、児童一人一人が自分の強みをより高め、思考の過程を大切に授業展開。(全般) ④自分のことや身近で簡単な事柄について、相手に配慮し、自分の考えや気持ちが伝わるよう工夫して伝えることのできる活動を重視した授業展開。(外国語等) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤思考の過程を意識しつつ、学び直す態度を大事にし、友達同士で支え合う授業展開。(全般) ⑥思考・判断を伴う受信・発信のやりとりから知識・技能を身に付け、その活動から自信や主体的に学習に取り組む態度が養成されるような授業展開の工夫。(外国語等)

本校の特色ある取組

- HRT主導による外国語等授業の展開。
- 5つの「しっかり」（挨拶・見る・聞く・考える・伝える）を基盤とした児童への基本指導。
- 2つの学校図書館を効果的に活用した読書活動の充実。

家庭教育との連携

- 中学校の定期テストに合わせた家庭学習強化週間の実施。
- チーム学校、地域とともにある学校づくりの推進のための、積極的な情報発信。

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①一人あたりの言語活動を多くすることで得られる基礎的、基本的な知識・技能。(全般) ②コミュニケーションの体験を基に、言語や文化に慣れ親しむことで得られる知識・技能。(外国語等)	③問題を発見し、プログラミング的思考を活用して結果を予測し、記述して実行する思考力・判断力・表現力等。(全般) ④できるだけ多くの活動を体験させ、伝え合う力を養うことで身に付く思考力・判断力・表現力等。(外国語等)	⑤課題解決に主体的に取り組み、最後まで思考錯誤を続けて、学習の成果を他者と共有しながら、お互いに高めようとする態度。(全般) ⑥相手が理解しやすい話し方を考えるなど、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度。(外国語等)



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	① ③ ⑤	①視写・聴写能力を一文字から文節ごとにできるようにする。 ③はじめ・中・終わりの文の構成やかぎ括弧・漢字・片仮名の使い方を反復指導し、文章を書く力や読み取る力の向上を図る。 ⑤児童同士の意見の交流を行い、友達のを考えを生かして自分の考えを書く場を設定する。	
算数	① ③	①具体物の活用や身近な事例をグラフに表す等、体験を通して知識を定着させる。 ③解答を導き出した方法や理由について説明させる。	
生活	③ ⑤	③国語の学習を生かし、探検して気が付いたことを知らせたり、できるようになったことを分かるようにまとめたりする。 ⑤グループで探検に出かけ、友達と協力しながら、計画に沿って地域の場所を調べる活動に取り組みさせる。	
音楽	⑤	⑤楽しく音楽と関わりながら、生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣の定着を図るために、曲に合わせて体を動かしながら拍の流れや曲の気分を感じ取り、楽しく歌ったり聴いたりする活動に取り組みさせる。	
図画工作	⑤	⑤造形表現活動の快さや楽しさを経験させ、表現への意欲を高めるために、イメージしたものを描き加えて楽しむ活動や、偶然にできた形から想像して、描いたり、作ったりして楽しむ活動に取り組みさせる。	
体育	⑤	⑤様々な器具等を使い、動きを試しながら自分の体をいろいろな動かすことができるようにする力を身に付けるために、固定施設を使って自分の身体をいろいろな動かす活動に取り組みさせる。	
英語活動	②	②英語で進んで友達とあいさつをしたり、習ってきた物の名前を使って話したりして、楽しみながら英語に慣れ親しもうとする態度を養うために、歌や踊り、ゲームを通して、友達と積極的に関わり合い、遊びながら英語活動に自然に慣れ親しむことができるような活動に取り組みさせる。	
特別の教科 道徳	⑤	⑤自立心や自律性を持ち、善悪を判断し、してはならないこと、社会生活上のきまりを守ろうとする態度を養うために、役割演技や体験的な学習を取り入れ、きまりを守ることのよさや大切さ、善悪を判断して適切な行動を取るることの大切さについて考えさせる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組 (中学年)

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①一人あたりの言語活動を多くすることで得られる基礎的、基本的な知識・技能。(全般) ②コミュニケーションの体験を基に、言語や文化に慣れ親しむことで得られる知識・技能。(外国語等)	③問題を発見し、プログラミング的思考を活用して結果を予測し、記述して実行する思考力・判断力・表現力等。(全般) ④できるだけ多くの活動を体験させ、伝え合う力を養うことで身に付く思考力・判断力・表現力等。(外国語等)	⑤課題解決に主体的に取り組み、最後まで思考錯誤を続けて、学習の成果を他者と共有しながら、お互いに高めようとする態度。(全般) ⑥相手が理解しやすい話し方を考えるなど、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度。(外国語等)



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	① ⑤	①視写・聴写能力を文節から文ごとに高めつつ、単語でメモすることを習慣化させる。 ⑤話し合う課題を明確にして意識的に話を聞き、それを書いて表現する場を設定する。	
社会	① ③ ⑤	①地図や資料を見る機会の充実を図る。 ③資料から読み取ったことをもとに、感想等を交えて自分の考えを表現させる。 ⑤課題を追求する方法を提示する。	
算数	① ⑤	①既習と新しい学習の関連付けや、日常の事例をもとにした反復練習を実践し、理解の定着を図る。 ⑤考えを整理して表現する力を高めるため、自力解決方法を友達と伝え合う活動を取り入れる。	
理科	③ ⑤	③観察や実験の結果をもとに意見交流を図る。 ⑤実験や観察に加え、写真や映像資料を積極的に活用し、児童の主体的な学習のための授業展開を工夫する。 ⑤見通しをもった観察、実験、ものづくり等を実践し、結果を整理し考えたことを図や文を使って表現させる。	
音楽	⑤	⑤進んで音楽に関わりながら、生活を明るく潤いのあるものにする態度を養い、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるために、様々なリズム表現や旋律の特徴を感じ取ったり、地域に伝わる音楽に親しんだりしながら、楽器や声、音への興味・関心を広げる活動に取り組ませる。	
図画工作	①	①造形的なものの見方や考え方、造形感覚を養うために、つくりたい内容に合わせて材料や用具を扱ったり、手順や方法を確かめながら表したりする活動に取り組ませる。	
体育	⑤	⑤チームで作戦を生かしてゲームを楽しませ、友達と関わり合いながら、いろいろな動きをできるようにする力を身に付けるために、作戦を生かして得点につなげる活動や、用具(ボール)などを用いてのびのびと運動する活動に取り組ませる。	
外国語活動	②	②「聞くこと」「話すこと」の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成するために、児童が英語や外国の文化に触れ、興味をもてる機会をつくるとともに、ALTや友達に対し積極的に英語を用いてコミュニケーションをとることのできる活動に取り組ませる。	
特別の教科 道徳	⑤	⑤他者を思いやる心をもち、身近な人々と協力して助け合う態度や、集団や社会のきまりを守ろうとする態度を養うために、自らを振り返り成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりできるように話合いの時間を充実させ、他者のよさを認めるとともに、きまりを守ることの意義について考えさせる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①一人あたりの言語活動を多くすることで得られる基礎的、基本的な知識・技能。(全般) ②コミュニケーションの体験を基に、言語や文化に慣れ親しむことで得られる知識・技能。(外国語等)	③問題を発見し、プログラミング的思考を活用して結果を予測し、記述して実行する思考力・判断力・表現力等。(全般) ④できるだけ多くの活動を体験させ、伝え合う力を養うことで身に付く思考力・判断力・表現力等。(外国語等)	⑤課題解決に主体的に取り組み、最後まで思考錯誤を続けて、学習の成果を他者と共有しながら、お互いに高めようとする態度。(全般) ⑥相手が理解しやすい話し方を考えるなど、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度。(外国語等)



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	① ③ ⑤	①視写・聴写能力を文節から文ごとに高めつつ、工夫してメモすることの習慣化を図る。 ③作文指導で学んだ文法の活用や、物語文の学習で関係する多くの本に触れる等、学びの活用場面を設定する。 ⑤友達との対話活動により、話す力・聞く力を向上させる。	
社会	③ ⑤	③適切に資料を分析するため、資料を読み取る視点を提示する。 ③地図帳やICT端末を活用し、位置や空間的な広がり、環境条件等に着目して学びを実現する。 ⑤児童の気付きや疑問からの課題解決型学習を実践する。	
算数	① ③	①文章問題や図形・グラフの読み取り等、他教科と関連させ教科横断的に取り組む。 ①既習と新しい学習の関連付けや、日常の事例をもとにした反復練習を実践し、理解の定着を図る。 ③筋道立てて説明する経験を重ね、論理的思考力の定着を図る。	
理科	③ ⑤	③ICT端末を活用し、実験や観察の結果を基に考えたことや分かったことを論理的にまとめさせる。 ⑤身近な自然事象から問題を設定し、主体的に学習に取り組めるようにする。 ⑤友達と協力して問題解決を進める学習展開の工夫を図る。	
音楽	⑤	⑤主体的に音楽に関わりながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度を養い、表現したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるために、音の重なりや色々な音色を感じ取ったり、詩と音楽の関わりを味わったりしながら、日本をはじめ様々な音楽への興味・関心を深める活動に取り組ませる。	
図画工作	③	③自分らしい表現を追求したり、発見したりする力を身に付けさせるために、一人一人が感じたことを大切に、見付けた対象の形や色の特徴を思いのままに表すことや、形や色の構成、組み合わせなどを試しながら、自分が表現したいものを追求する活動に取り組ませる。	
家庭	⑤	⑤生活を見つめ、改善するためにできることを増やしていく力を身に付けるために、計画を立てて実行する活動や生活で使えるものを計画に沿って製作する活動、学んだことや身に付けたことから工夫して、生活に生かす活動等に取り組ませる。	
体育	⑤	⑤課題達成のために、互いに技のポイントを教え合ったり簡単にできる場を使って練習したりできるようにする力を身に付けるために、場の設定を工夫したり、友達と協力し合ったりする活動に取り組ませる。	
外国語科	②	②「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動を通して、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成するために、児童が目的・場面・状況に応じて英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることのできる活動に取り組ませる。	

特別の教科 道徳	⑤	⑤生活の充実に努めようとする態度や、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重する態度を養うために、問題解決的な学習や友達と議論させる活動を取り入れ、児童自らが道徳的価値を実現するための課題や目標、道徳性を養うことのよさや意義について考える活動に取り組ませる。	
----------	---	---	--

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

○HRT主導による外国語等授業の展開

・学校課題研究主題である「英語でも、楽しく意欲的に伝え合う、西小っ子の育成」を目指し、HRT主導による外国語等授業の展開に向け、指導者を招聘する等、研修内容の充実を図る。

○5つの「しっかり」（挨拶・見る・聞く・考える・伝える）を基盤とした児童への基本指導

・「しっかりあいさつ、しっかり見る、しっかり聞く、しっかり考える、しっかり伝える」という5つの「しっかり」を児童が意識し、定着が図られるように、学級活動や生活朝会、終業式等で振り返りの場面を設ける。
・よい取組について称賛し、全校へ紹介することで、さらなる定着を図っていく。

○2つの学校図書館を効果的に活用した読書活動の充実

・朝読書を充実させる。担任も一緒に読書に取り組むことで、学校全体として読書を推進する一体感を醸成する。
・読書月間の取組や、図書館支援員等による読み聞かせ活動を充実させる。
・学校応援団を活用した読み聞かせ活動を充実させる。
・学校図書館貸出冊数2万冊超えを目指す。

家庭教育との連携

○中学校の定期テストに合わせた家庭学習強化週間の実施

・西中学校定期テスト期間を「家庭学習強化週間」とし、保護者の理解と協力の下、家庭学習の取組を啓発していく。
・小中一貫教育の一環として実施し、「家庭学習強化週間は家庭で学習」という意識を児童にもたせることで、中一ギャップの解消につなげていく。

○チーム学校、地域とともにある学校づくりの推進のための、積極的な情報発信

・チーム学校、地域とともにある学校づくりを推進するため、積極的に情報を発信するとともに、PTA・おやじの会を含む学校応援団をはじめ、保護者・地域・幼保中・関係機関との連携に取り組む。